

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	CAD3 (CAD3)		
ナンバリングコード	L30304	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 建築設計製図
単位数	1	配当学年 / 開講期	3年 / 後期
必修・選択区分	コース選択必修: 建築設計コース、住居・インテリアコース 選択: 建築工学コース、環境地域(まち)コース、環境地域(社会)コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L030451	クラス名	-
担当教員名	近藤 正一、菅 雅幸		
履修上の注意、履修条件	欠席をした場合、次週の演習に支障がでる場合があります。教室の関係上、同じ条件での補講が困難なので、欠席はしないこと。また、やむを得ない理由で欠席した場合は、次の授業までに担当教員の指導を受けて課題を進めておくこと。 宿題・配布資料を忘れないようにしてください。くれぐれも、欠席をしないようにしてください。		
教科書	指定なし		
参考文献及び指定図書	授業の中で、随時、紹介します。		
関連科目	CAD1、CAD2、基礎製図、CAD製図		

○基本情報	
授業の目的	これまでの専門教育で修得したCAD技術・製図技術を総合し、複数のCAD関連ソフト群を連動して一つの作品、あるいは作品集を完成させることで、実社会で活用できるスキルを身につけるための演習を行います。VectorWorks、JW-CAD、ArchiCAD、SketchUP、Shade、Illustrator、Photoshop、Word、Excel、PowerPoint といった関連するアプリケーションソフトを駆使し、図面や3DCGを作成し、画像加工、レイアウト、プレゼンテーションに至るまで、一連の作業について取り組み、演習課題を通してCADに対する習熟度を向上させます。
授業の概要	前半は、3Dのデータ制作課題に取り組みます。成果はおもに図面とパース、場合によってはアニメーションで表現し、最終成果は3Dプリンタを用いて実際に制作してもらいます。途中で効果的なレイアウト技術を身につけるための課題に取り組み、後半は、これまでの専門教育および正課外活動を総合し、すべてのCAD技術を活用したポートフォリオ・プレゼンテーションの作成に取り組みます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「実験実習形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「共同担当方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	菅雅幸 本授業のCADに関する実務経験として株式会社山下設計にて建築設計に従事。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	CADの基本操作に精通し、新しい製品の新しい機能を自ら進んで習得し対応できる。		10点	20点
【知識・理解】	CADと製図の基礎が身につけており、応用できる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	建築物を図面から立体的にとらえることができ、逆に建築空間を想定して図面を描くことができる。		10点	10点
【思考・判断・創造】	第三者に思考を総合的かつ効果的に伝えるための判断力・創造力が身につけている。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。 提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバック方法については、次回以降の授業中に講評・解説を行います。

○その他
(この欄は空欄です)

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	CAD3 (CAD3)	授業コード	L030451
	担当教員	近藤 正一、菅 雅幸		
学修内容				
1. CADの基本操作				
これまでに学んだ技術の復習を兼ねて、様々なCADソフトのリンクを図ります。CAD製図と手書き製図との相違点を把握し、CADならではの作図技術について学ぶとともに、今後に取り組む課題の意義と修得目標を確認します。				
予習	CADの基本操作について調べておく。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
2. 課題説明と制作プロセスの設定				
第一課題は、3Dのデータ制作に取り組みます。課題説明とともに、これから取り組むテーマについてアクティブラーニングを介して能動的に設定し、制作プロセスを各自で策定していきます。テーマが決まったら、制作に入ります。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
3. 3Dデータの作成(1)				
VectorWorks、ArchiCAD 等を持ちいて、3Dデータを作成します。アプリケーションソフトの基本操作は全体に対し解説しますが、テーマによってアプローチの仕方が異なるので、個人指導の部分もあります。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
4. 3Dデータの作成(2)				
先週からの続きの作業となります。アプリケーションソフトの基本操作は全体に対し解説しますが、テーマによってアプローチの仕方が異なるので、個人指導の部分もあります。あらかじめ設定した到達目標に達した時点で完成とします。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
5. 3Dデータの加工				
完成した3Dデータを用いて、テクスチャを与えたり、光源を設定したり、場合によってはインテリアを追加するなどして、ブラッシュアップしていきます。成果は図面やCGによるパース等で表現します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
6. 3Dプリンターによる立体制作(1)				
3Dプリンターとは何か、施設・設備の使用法、またデータ形式の変換など3D制作のために必要となるプロセス等について解説します。設備の使用には時間と手間がかかるため、当番を決めて順番に制作に取りかかります。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
7. 3Dプリンターによる立体制作(2)				
引き続き、3Dプリンターにより順番に制作します。待ち時間を利用して、テーマおよびコンセプトの明文化、ダイアグラムの作成、制作した画像の加工など、これまでの成果を発表するための準備を開始します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
8. 立体表現の講評会				
完成した立体作品を図面やCGによるパース、アニメーション等とともに、授業の中で発表してもらいます。また、これまでの成果は、コンセプトなど必要事項を付記して、ホームページ等で公表します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間

○授業計画	科目名	CAD3 (CAD3)	授業コード	L030451
	担当教員	近藤 正一、菅 雅幸		
学修内容				
9. 課題設定とレイアウトの技術				
第二課題では、コンテストへの参加を前提としたテーマを設定し、CADを持ちいて環境・地域創生に貢献できる提案をプレゼンテーションするための技術を学びます。そのために必要な知識として、デザインの領域からレイアウトにかかわる専門分野と具体事例について講義します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
10. コンテンツの制作				
これまでに習得したCADの技術を駆使してコンテストのテーマに即したコンセプト、ダイアグラム、図面、パース等のコンテンツを制作します。第一課題ではそれぞれのコンテンツごとに完成させましたが、今回はコンテンツ相互の関連性を重視して制作します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
11. プレゼンテーションの制作				
Illustrator を用いて、コンテンツをわかりやすく、かつ美しくレイアウトします。1枚のポスターとして仕上げることで、コンテンツの有機的連関を図り、全体で一つの作品となるように構成します。完成後は、第9週で設定した各コンテストに応募します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
12. ポートフォリオの制作(1)				
「自分の作品をまとめたもの」をポートフォリオ(portfolio)といいます。大学入学以降3年間の集大成として、これまでに制作した作品や取り組んだ課題、正課外活動などについて、第三者にもわかるようにまとめます。まず、ポートフォリオに掲載する内容を整理します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
13. ポートフォリオの制作(2)				
効果的なレイアウト、ページ構成、表題、目次、フォント・色彩・サイズ・掲載計画、使用するソフト等について検討し方策を立ててから、制作に取りかかります。必要に応じて、図面の描き直しや図表の追加、キャプションの見直しを行います。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
14. ポートフォリオの制作(3)				
引き続き、ポートフォリオの制作を実施します。適宜、中間チェックを行い、より効果的なプレゼンテーションとなるように個別に指導します。一冊の作品集として完成させ、PDF形式で出力して提出します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
15. 振り返り				
この授業を通して、複数のCAD関連ソフト群を連動して一つの作品、あるいは作品集を完成させるスキルを身につけることができたことを授業の「振り返り」により確認します。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間
16. 課題提出締め切り日				
これまでに取り組んだ課題の最終提出締め切り日です。これ以降の提出は受け付けません。				
予習	課題に対し能動的に学修する。			約2時間
復習	不十分な部分を復習しマスターしておく。			約2時間